

お食事・喫茶・グルメ情報

おいしいランチ・ディナーのお店

1 かわらや 058-262-1530	不定休 Pあり	ランチ弁当(限定30食) 11:30~13:30 老舗料亭のお昼食(ランチ弁当) 860円
創作料理・もつ鍋 2 信長本店 058-263-6633	月曜休 P13台 84席	ランチ 11:30~15:00(土・日・祝日のみ) 選べる釜飯ランチ 1,480円 +400円でもつ鍋・鶏ちゃんをチョイス 夜席 17:00~22:00(コース料理は要予約) もつ鍋コース 3,000円~(単品料理もあります)
珍しい竹そば 3 のやま亭 058-263-0610	水曜休 Pあり	昼席 11:00~14:00 竹そば定食 880円 竹そば三種盛り 冷・1,000円 温・1,200円 天然素材の竹そば(ヒジキ・自然薯・すもも入りそばなど) 夜のコース料理は要予約 お一人様 5,000円~
4 東亭食堂 058-263-3079	日曜休 Pあり	明治27年創業 昔ながらの味を残す食堂です 11:00~14:00 17:00~20:00(LO19:30) 中華そば 400円 親子丼 550円 味噌煮込みうどん(冬季限定) 650円 など
5 しんめ 058-262-7762	3の付 く夜休	モーニング 8:00~11:00 400円 ランチ 11:30~ 大人気 日替わりA定食・B定食 各700円 夜は飲み処 18:00~ 串ものなど多種類
ステーキハウス 6 飛騨牛かわい 058-263-5522	月曜休 P7台 38席	飛騨牛ステーキをテーブル席や個室でゆったりと 昼席 11:30~14:00 ミニ会席(土・日要予約) ステーキ丼 2,420円 ビーフシチュー 2,940円 夜席 17:00~21:00(コース料理は要予約) ステーキコース 3,680円~(単品料理もあります)
Cafe Chat 7 カフェ茶人 070-2613-8158	水・木曜 休み P3台	町家を改装した店内で、岐阜県産の食材と器で提供 モーニング 9:00~11:00 ランチ 11:00~ 飛騨牛・美濃健康のロコモコやカレー、莊川蕎麦 16:00までの営業・不定期で休業日があります

岐阜公園での食事・休憩

岐阜公園総合案内所 8 楽市楽座	不定休	11:30~15:00(平日) 角煮ラーメン 800円 牛しぐれうどん 700円 カレー 700円 ソフトクリーム 400円 など 喫茶・甘味も充実、お土産コーナーもあります
金華山頂 9 展望レストラン 058-262-6784	無休	冬期 10:30~16:00 夏期 10:00~22:00 B級グルメ・グランプリ受賞の信長どて丼 750円 最高の眺望で、喫茶メニューも充実しています 7~8月は夜景を眺めて飲めるビアガーデン開催
木の芽でんがく処 10 売店 むらせ	月曜休	10:00~(月曜のほか雨の日の休みもあり) 明治35年創業の公園休憩処 とうふ田楽 650円 とうふ田楽定食 1,100円 いも田楽定食 1,200円
公園内売店 11 植木屋	不定休	10:00~17:00 夏場はかき氷などもある休憩処 田楽 630円 五平餅 260円 団子1本90円など
噴水前売店 12 金華茶屋	火曜休	10:00~ お好み焼き、焼そばのソースが香るお店 焼そば・お好み焼き・おでん 各 430円 など

ちょっとコーヒーブレイク

13 ヤジマコーヒー 058-215-6890	火曜休 Pあり	11:00~18:00 自家焙煎のコーヒーとフランス焼き菓子のお店 コーヒー 450円~ 焼き菓子 450円~ ※特製コーヒー豆(自家焙煎)も販売しています
14 コメダ珈琲 058-263-2552	無休 P40台	7:00~22:30 モーニングサービス 7:00~11:00 お馴染みコメダのブレンドコーヒー 420円 お昼は軽食のみ ミックスサンド 620円~
15 わいわいハウス 金華	日曜・ 祝日休	喫茶のみ 9:00~12:00 モーニングセット 200円 コーヒー 150円 紅茶・ココアも同料金で提供しています

予約してでも行きたい老舗料亭(全て要予約)

16 萬松館 058-262-0039	不定休 Pあり	由緒ある料亭の味と3千坪のお庭を眺めて 11:30~14:00 17:30~21:00(LO19:30) 昼席 懐石料理コース 5,000円(税別)~ 夜席 季節の懐石料理コース 8,000円(税別)~
17 きんか 058-262-2292	不定休 Pあり	老舗料理旅館のおもてなしと味を堪能 17:30~21:00(LO19:30) 夜席 おまかせ懐石 10,000円(税・サ別)~ 多人数の場合はご相談可 宿泊も承っております
1 かわらや 058-262-1530	火曜休 Pあり	鮎料理が自慢の老舗料亭の味をお手軽な昼席で 昼席 松華堂弁当 2,625円 ミニ会席 3,675円 夜席 季節の会席料理 7,350円~
18 十八楼時季の蔵 058-265-1551	水曜休 Pあり	老舗温泉旅館・十八楼が直営する蔵レストラン 12:00~14:00 17:30~21:00(LO19:30) 昼席 平日 3,240円~ 土・日・祝日 4,320円~ 夜席 5,400円~(温泉入浴付き)

掲載の料金・値段は、消費税の増税により変わることがあります。

井の口まちづくり会の活動

井の口まちづくり会は、一年余りの準備期間を経て、平成20年3月に結成された住民主体のまちづくり団体です。
斎藤道三と織田信長が築いた城下町は、井の口まちづくり会の活動区域と重なり、その町割りには当時のまま現在に引き継がれていて、今もなお歴史や文化を肌で感じられるまちが残っています。
私たちは、このまちに暮らす友人たちと手を携えて、このまちと先人たちが残した素晴らしい文化遺産や景観、金華山を中心とした自然環境を、私たちの子孫に引き継いでいかなければならないと考え、さまざまな活動を行っています。

平成20年3月23日 設立
平成20年5月20日 岐阜市都市景観形成市民団体に認定
平成24年1月31日 岐阜市景観賞受賞(まちづくり活動部門)

●構成員

岐阜市大宮町1丁目、大宮町2丁目、松ヶ枝町北、松ヶ枝町南、松下町、松山町、夕陽ヶ丘、夕陽ヶ丘県営住宅、木挽町、山口町、上茶屋町、下茶屋町、益屋町、大仏町、梶川町、今町1丁目、今町2丁目、今町3丁目、今町4丁目を区域とし、その住民有志を主体とする約150名と地域外有志約30名です。

●主な活動内容

運営主体は、役員会が担います。
活動主体は、「まちの歴史探索部会」・「まちの風景検討部会」・「まちなかアート部会」・「広報通信作成部会」の4部会が企画、運営しています。



まちの風景検討部会が隔年で企画する「日帰りバス視察研修旅行」 全国から集まる学生による「井の口寄席」(岐阜市が2月開催する東伝大賞決定日の夜)



まちの歴史探索部会では まちなかアート部会が開催するのは「七ヶコンサート」(7月) 歴史勉強会や講話会を開催 「まちなかお月見アート」(10月)・「大仏様への年賀状展」(1月)

●井の口まちづくり会「まちの文化的建造物」顕彰制度

この顕彰制度は、戦争や震災から残った歴史的建造物を大切に保存管理されている方や、井の口のまち並みに根差せる工夫をされて改築されている方など、まちの魅力創出に努力、寄与されている住民の方々に対し、感謝の意を表すことを目的に発足し、その素晴らしさを地域の皆さまに再認識していただくものです。
まちの風景検討部会と金華まちづくり研究会とによる建物調査を経て、平成25年度に登録された建造物の中から、第1回顕彰会と第2回顕彰会を経て、平成26年4月の総会にて7邸の方々へ、桜の銘木板で作られた井の口まちづくり会特製標札を贈呈することとし、以後、毎年の総会にて建造物等の顕彰を続けています。

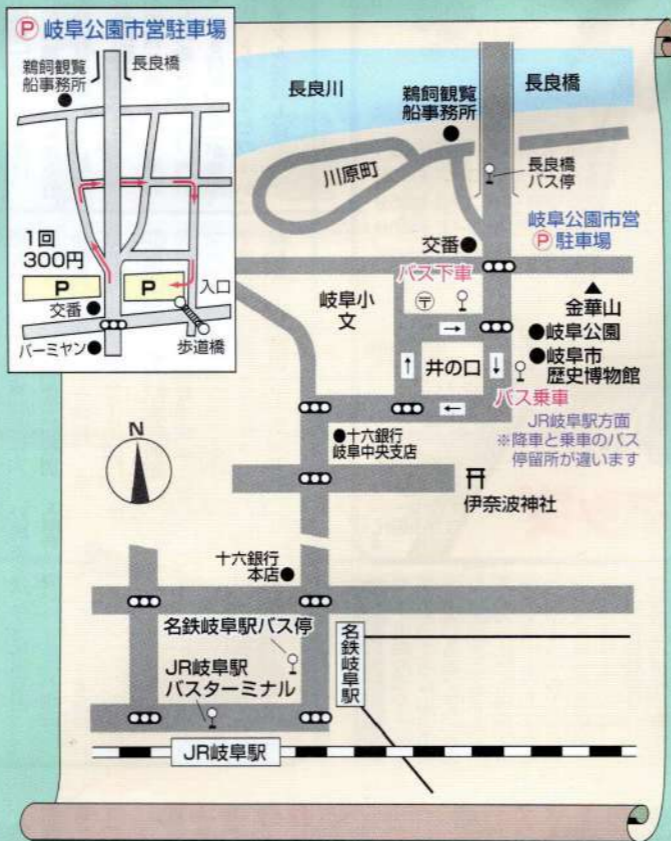
発行：井の口まちづくり会
責任者 会長・小林 孝夫 ☎058-264-2760
制作 井の口まちづくり会 広報通信作成部会

平成30年度 岐阜市市民活動支援事業 採択事業 平成30年8月30日

このマップは岐阜市・活動助成金と地元有志様からの協賛金により発行しています。

金華・井の口
城下町の風情と静かだ趣のあるまち並みを歩いてみれば、新しい発見がいっぱいです。

このまちのおだやかで温かい人柄をほぐくむ。
緑豊かな金華山と母なる長良川の自然が、岐阜城を見上げれば歴史ロマンがあふれ、



【交通】
バス：JR岐阜駅12番・13番N系統、11番市内ループ左まわり「岐阜公園歴史博物館前」バス下車 20分ほど
タクシー：JR岐阜駅から約10分ほど
マイカー：岐阜公園市営駐車場(8:30~21:00)(1回300円、1時間以内無料)

見る・学ぶ・遊ぶ・ふれあう情報

■井の口の名所・歴史的遺産

1 正法寺 岐阜大仏	年中無休 9:00~17:00 拝観料 大人200円 小人100円 東大寺、鎌倉の大仏さまと併せた三大仏とも称され、金色に輝く慈悲あふれるやさしいお顔に心がいやされます
2 道三菩提寺 常在寺	年中無休 10:00~17:00(季節により変更あり) 拝観料 大人150円 小人100円 このまちの基礎をつくり、信長を娘婿に選ぶなど、戦国武将として誉れ高い斎藤道三の供養墓があるお寺です
3 芭蕉ゆかり 妙照寺	年中無休 10:00~17:00(季節により変更あり) 拝観料 大人のみ200円 この地は知将で名高い竹中半兵衛の屋敷跡であり、芭蕉が住職己白の招きで1か月間滞在した寺としても有名

■岐阜公園と金華山(岐阜城跡)・長良川

4 岐阜公園総合案内所 058-264-4865	無休(年末年始休み) 9:00~18:00(3月~11月) 9:00~17:00(12月~2月) 岐阜市全般の観光情報を提供 レンタサイクル 一日100円
5 金華山ロープウェイ	年中無休 9:00~17:00(季節により変更あり) 平日15分置き、土・日・祝日10分置きに出発 往復運賃 大人1,080円 小人540円(片道可)
6 金華山リス村	年中無休 9:30~16:30 入場料 大人・小人ともに200円
7 岐阜城(資料館)	年中無休 9:30~16:30(季節により変更あり) 観覧料(資料館含む) 大人200円 小人100円
8 鶴岡観覧船事務所 058-262-0104	4月から10月15日まで無休 ほか土・日曜休み 8:45~17:30(鶴岡期間中は21:00まで) まちめぐりに最適なレンタサイクル 一日100円

■博物館・美術館・ギャラリー・その他

9 岐阜市歴史博物館	月曜休(祝日の場合は翌日)・年末年始休み 9:00~17:00(入館は16:30まで) 各施設観覧料 高校生以上300円 小学生150円 (博物館特別展示観覧料は展示会により異なります)
10 加藤栄三・東一記念美術館	水・木曜休(夏休み期間は無休) 10:00~17:00 12月・1月・2月は火・水・木曜休(祝日の場合は開館) 入館料 高校生以上500円 4歳以上400円
11 名和昆虫博物館	月・火曜休 入館無料 お気軽にお入りください 岐阜県ゆかりの画家・陶芸家の作品を中心に展示 企画展のほか所蔵品展などで愛好家に人気の画廊です
12 画廊 光芳堂 058-263-2012	月・火曜休 入館無料 13:00~18:00 現代アート作品などの月替わり企画展を開催しています 喫茶スペースでは挽き立てコーヒー 500円をどうぞ
13 ギャラリーなうふ現代 058-264-2920	週末のみ営業(金・土・日曜) 12:00~17:00 町家を改装し、若手現代アート作家の作品を中心に展示 入り口スペースには紙製品などの雑貨ショップを併設 オリジナル商品「岐阜大仏クッキー」5枚入り600円(税別)
14 ギャラリー小さい家 090-2922-3946	開館日 水・土・日曜 10:00~16:00 入館料 500円 円空仏78体を蒐集・展示している 2階では桃山時代から現代の美術作品が鑑賞できます 南角にある古美術・骨董のお店がオーナー
15 円空美術館 058-266-4556 古美術松栄堂	不定休(予約制・奥田銃砲店へお電話ください) ライフルを持ち込みの方のみが使用できる射撃施設です 料金 1時間 1的1,000円 奥田銃砲店(日曜休み) 営業時間 9:00~17:00
16 岐阜エアライフル射撃場 058-262-2001 奥田銃砲店	木曜休 16:00~22:00(サウナあります) 料金 大人420円 小学生150円 幼児70円
17 銭湯 公園の湯	

■伝統工芸・郷土工芸・クラフトのお店(企業)

18 安藤商店・雛の蔵 058-262-8250	不定休 伝統工芸の岐阜提灯・ぼんぼりを製造しています 本町1丁目の「雛の蔵」では初節句の雛人形・五月人形、羽子板などをずらり展示、販売もしています
19 人形の堀田 058-262-5304	不定休 初節句の雛人形や五月人形、羽子板などのほか フランス人形なども扱うお人形の専門店です 雛人形のぼんぼりを製造している工房でもあります
20 小原屋商店 058-263-9894	不定休 岐阜県郷土工芸品「のぼり鯉」を手づくりするお店 のぼり鯉 黒・赤一対(小)9,800円(大)22,000円 成長を願って手書きの美濃紙を用いた鯉のぼりはいかが
21 丸市木村商店 058-262-1682	土・日曜休 岐阜伝統工芸品である岐阜提灯などの スクリーン印刷・絵付けを制作する会社 ※ご注意 提灯などの小売り対応はしていません
22 ふくろう絵工房 080-2638-6876	不定休 店主が手づくりで仕上げる「ふくろうグッズ」は 表情豊かで、すべてオリジナル作品 100円~あります 幸福を呼ぶプレゼントやお土産、旅の記念にお勧めです
23 宇野カバン店 058-263-5514	火曜休 創業60年以上、手づくりの鞆職人の店です ランドセル販売や注文カバンのほか、修理も承ります 新しい店舗に移動して、駐車場も完備しました

掲載の料金・値段は、消費税の増税により変わることがあります。



16 萬松館
明治大正昭和の天皇陛下がお泊まりになった由緒ある料理旅館。現在は料亭として、岐阜公園に隣した3千坪の庭を眺めてお食事ができる。



18 ヤジマコーヒー
若い夫婦が営むお店の奥には大きな焙煎機があり、芳香なコーヒーと甘い焼き菓子の香りが店内に漂う喫茶店。
7 カフェ茶人
古い町家を改装して、岐阜県産にこだわった肉と野菜で作ったランチを提供。歴史が大好きなご主人は戦国武将名を飲み物メニューにしている。



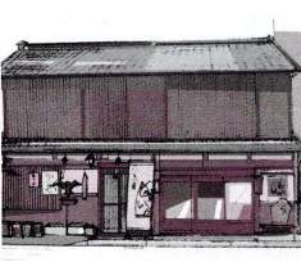
17 公園の湯
数少なくなった銭湯。近隣の人はかりでなく、金華山での山歩きを楽しむ人たちが汗を流しに立ち寄る。木曜日定休料 大人420円 小学生150円
6 飛騨牛かわい
大きな獅子頭が玄関脇に飾ってあるステーキハウス。高山祭を彷彿させる店内で、絶品の飛騨牛料理が味わえる。



16 岐阜エアライフル射撃場
このまちに長くある射撃場。今はエアライフル持ち込みの人が使用する遊戯施設。
○キュービックスハウス
箱型の板張り2階建ての外観が目引く。昭和初期建造のこの建物は、中庭に茶室もある和洋折衷のモダンな造り。



23 宇野カパン店
旧店舗から一本西へ移動し、手づくり靴を若い三代目のご主人が制作・販売している。使用したランドセルをミニチュアに作り替えるのも評判。
22 ふうろう絵工房
店主が手描きするふうろうの表情は、その人柄か和みと安らぎを感じさせる。幸福を招くプレゼントとしてお勧め。



井の口・まちの歴史
私たちが住むこのまちは、古くは古事記にも「井ノ口」の名で登場し、斎藤道三が稲葉山(金華山)の山頂に城を構え、その城下町としてまちの礎が築かれました。その当時もこは井の口と呼ばれ、梶川堀から東は武家屋敷が並び、西は町民の住まいがあり、お城に向かう大手門が建っていた七曲りと、百曲り通りがメインストリートでした。
織田信長の時代「岐阜町」と名は変わりましたが、町の中心はこの地であり、江戸時代には武家屋敷跡に町家や商家、寺院などが建ち並び町となり、今もなお、由緒ある歴史的財産や文化の香りが残されています。そして、平成26年に国の「重要な文化的景観」に選定された範囲にこのまちは含まれ、私たちは長良川と美しい金華山が創り出す風土と景観を誇りに思い、このまちに暮らす喜びを感じています。



ぎふ長良川の鶴飼
8 鶴飼観覧船事務所
期間は5月11日~10月15日
中秋の名月と大水の日以外毎夜行われる鶴飼は、6人の宮内庁式部職の鶴飼と鶴が織りなす伝統漁法。問い合わせは鶴飼観覧船事務所へ。

岐阜公園
明治21年の開園。大正期に三重塔などを整備し、戦後はライオンやベンギンもいる動物公園として市民に親しまれた。
現在は信長居館跡などの発掘調査により、「信長公の歴史」をテーマに整備が進められている。
ちびっこ天下広場
岐阜公園から歩道橋を渡った市営駐車場の東側に、平成30年1月に子供遊具広場としてオープンした子供遊具広場。
戦国時代の砦をイメージした物見やぐらやロングスライダー、クライミングなど遊べる。

4 岐阜公園総合案内所
岐阜公園の西北角地に平成21年に完成した総合案内所。門の前には「若き信長の像」が目印。軽食、売店、トイレなどのほか、レンタサイクル施設も併設。
5 金華山
斎藤道三が稲葉山(金華山)に城を築き、関ヶ原の戦いで降参した山頂に石垣だけが残っていた。明治43年に市民の呼びかけで復興天守を建設。しかし昭和18年に焼失し、31年に再び市民の手により現在の岐阜城が完成した。平成23年には金華山一帯が「国史跡岐阜城跡」の指定を受け、館があった注目を集めて歴史的評価がされる注目を集めている。
6 岐阜山リス村
往復運賃 大人1,080円
中では夜間営業をしている。
9 岐阜市歴史博物館
昭和60年開館、平成18年に大改修された。定期的に特別企画展(別途料金)を開催。観覧料 一般300円 小中生150円
10 加藤栄三東 記念美術館
美殿町で生まれ、日本画家となった兄弟の作品寄贈を受け平成3年に完成した美術館。観覧料 一般300円 小中生150円

○板垣退助像
明治15年この地で演説後に暴漢に襲われた際の「板垣死すとも自由は死せず」は有名。その36年後に建てられた像は金属供出されたが、昭和25年に再建された。
○三重塔
大正天皇即位を記念して大正6年に建てられた。設計者は伊東忠太、建てる場所は日本画の巨匠川合玉堂が定めたといわれる。建材にはその1年前に鉄鋼橋に架け替えられた長良橋の廃材が用いられた。平成29年に古い木材を活かした大規模な解体修復工事が行われ、美しい姿よみがえった。

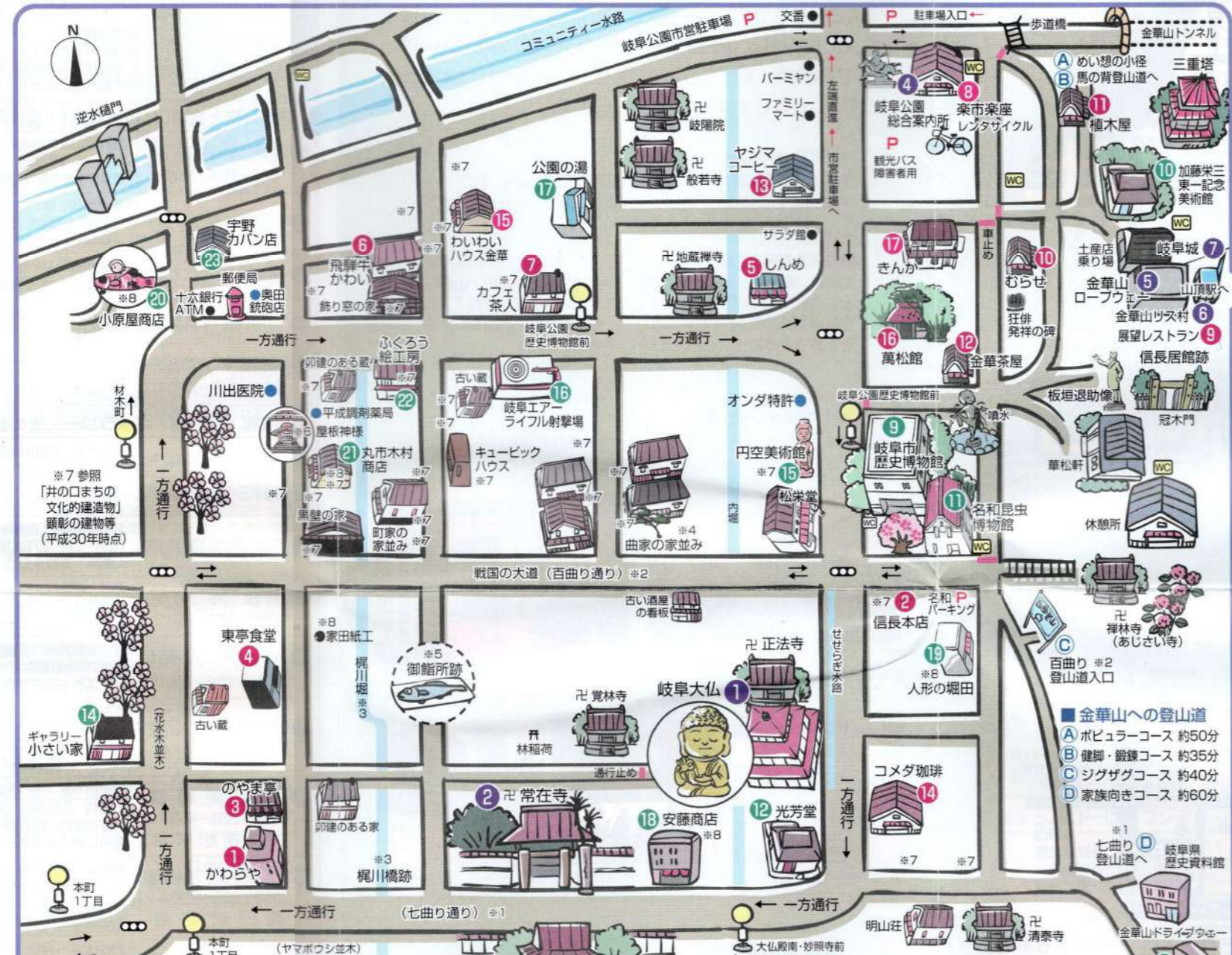
11 名和昆虫博物館
ギフチョウの発見者で知られる名和靖が創設した博物館。建物は大正8年武田五郎の設計。唐招提寺のシロアリ被害木を駆除後に再利用した3本の丸柱がある。標本数30万点以上。やさしい展示を試みる昆虫施設。入館料 一般500円 4歳以上400円
12 画廊 光芳堂
大仏殿やまちなみにマッチした佇まいの画廊。主に県内の著名画家や陶芸作家の個展や企画展を開催している。
15 円空美術館
円空を個人コレクターとして日本一所蔵。階では豊蔵、唐九郎、玉堂などの美術品を多数展示。入館料 500円 開館日 水曜・土曜・日曜日



19 人形の堀田
お人形の展示販売をしている専門店。奥の工房ではお雛さまのぼんぼりを作っている。
2 信長本店
創作料理と本場博多のもつ鍋のお店。昼は釜飯ランチが人気で、夜は宴会や飲み会、会食に最適なコース料理が充実。
18 安藤商店・雑の蔵
岐阜提灯の製造販売のお店。本町一丁目の「雑の蔵」ではひな人形、五月人形の展示販売をしている。川原町で営む「川原町屋」は女性に人気。
2 常在寺
斎藤道三が創建。国盗り物語にも登場するお寺で、斎藤道三供養墓がある。道三以降三代の菩提寺でもあり、娘(濃姫)が寄贈したという道三画像と義龍画像を所蔵する。拝観料 大人150円 小人100円



井の口散策マップ



名称説明
※1 七曲り通り
城下町のこは山の上のお城へ通じる道。今も七曲り登山道(へ)つながる。
平成27年この通りから、歩道と自転車道が分けられ、街路樹が美しい景観の道路に生まれ変わった。
※2 百曲り通り
当所へ最短で通つた道の道、今も「百曲り登山道」へ通じている。
現在は「戦国」の名で親しまれている。
※3 梶川堀跡
道三・信長の城下町だったところは東は武家屋敷、西は町家・商家にこの堀で分けられていた。
※4 曲家(まがりや)道
道を挟んで「コギリ」状に数軒の家が建ち並び、家の境には板塀が張り出し人が隠れる造りになっている。城下町家の名残りといわれている。
※5 御船おしり所跡
船をこらんとともに発着させた船は、江戸の将軍さまへの献上品。初夏から8月に10回ほど昼夜兼行4~5日運んだという。この御船所跡は、河川敷の建てた場所。江戸へと運んだ場所「御船所跡」も呼ぶ。
※6 屋根神様
ここにあった4軒長屋の屋根の上に祀ってあった秋葉様を下ろして設置。電など彫刻が施された古いお社は屋根の上にあつたため、斜めの台座にはめ込みがしてある。
※7 まちの文化的建造物
井の口まちづくり会ではまちの景観を魅力的にしている建造物などに対して、井の口の宝物と讃える。この標札を探しながらまち歩きをするのも面白い。
※8 伝説工舎・郷土芸
かつてこの地は、長良川の湊に山間地から竹や美濃和紙が荷揚げされ、提灯・うちわ・和傘などの産業が発達。現在も工房や商店が多く残っている。岐阜大仏様もまさに岐阜の工芸職人のなせる技。

1 かわらや
静かな佇まいのビルは鮎料理の老舗。会席料理や鮎料理、宴会は予約が必要だが、老舗の味が堪能できる先着30食のお値打ちランチ(不定休)が好評。
4 東亭食堂
階段を上った2階に昔ながらの食堂がある。豊富なメニューで、中華そばやうどん、カツ丼などが安くてうまい。
3 のやま亭
民芸風の入り口をくぐればそこは、孟宗竹とヒジキなどの天然素材でつくられる珍しい竹そばのお店。お昼の竹そば定食はお値打ち。夜は予約制。
3 のやま亭
民芸風の入り口をくぐればそこは、孟宗竹とヒジキなどの天然素材でつくられる珍しい竹そばのお店。お昼の竹そば定食はお値打ち。夜は予約制。
2 常在寺
斎藤道三が創建。国盗り物語にも登場するお寺で、斎藤道三供養墓がある。道三以降三代の菩提寺でもあり、娘(濃姫)が寄贈したという道三画像と義龍画像を所蔵する。拝観料 大人150円 小人100円
18 安藤商店・雑の蔵
岐阜提灯の製造販売のお店。本町一丁目の「雑の蔵」ではひな人形、五月人形の展示販売をしている。川原町で営む「川原町屋」は女性に人気。
2 常在寺
斎藤道三が創建。国盗り物語にも登場するお寺で、斎藤道三供養墓がある。道三以降三代の菩提寺でもあり、娘(濃姫)が寄贈したという道三画像と義龍画像を所蔵する。拝観料 大人150円 小人100円
3 妙照寺
芭蕉が1か月間滞在し、今もその座敷を「芭蕉の間」として残すお寺。到着時に詠んだ句碑もあり、竹中半兵衛の屋敷があつた地としても有名。奥にある三光稲荷は半兵衛の守護神と伝えられている。近年、土堀と本堂の大改修工事を行った約45年続く古刹。拝観料 大人のみ200円



○飾り窓の家
道路に面した黒屏のお宅の飾り窓。四季折々のお花が毎日活けられて、通る人を楽しませている。
21 丸市木村商店
提灯絵付けのシルクスクリーンを生業にする会社。代々続く建物は、このまちならではの洗い格子が美しい町家。
20 小原屋商店
江戸期から作られたのぼり鯉は、手漉きの美濃和紙を手揉みすることで丈夫で独特の質感になったものに、手描き彩色を施した岐阜県の郷土工芸品。
○卯建のある蔵
古い蔵を現代風に改装。
3 のやま亭
民芸風の入り口をくぐればそこは、孟宗竹とヒジキなどの天然素材でつくられる珍しい竹そばのお店。お昼の竹そば定食はお値打ち。夜は予約制。

21 丸市木村商店
提灯絵付けのシルクスクリーンを生業にする会社。代々続く建物は、このまちならではの洗い格子が美しい町家。
20 小原屋商店
江戸期から作られたのぼり鯉は、手漉きの美濃和紙を手揉みすることで丈夫で独特の質感になったものに、手描き彩色を施した岐阜県の郷土工芸品。
○卯建のある蔵
古い蔵を現代風に改装。
3 のやま亭
民芸風の入り口をくぐればそこは、孟宗竹とヒジキなどの天然素材でつくられる珍しい竹そばのお店。お昼の竹そば定食はお値打ち。夜は予約制。

3 妙照寺
芭蕉が1か月間滞在し、今もその座敷を「芭蕉の間」として残すお寺。到着時に詠んだ句碑もあり、竹中半兵衛の屋敷があつた地としても有名。奥にある三光稲荷は半兵衛の守護神と伝えられている。近年、土堀と本堂の大改修工事を行った約45年続く古刹。拝観料 大人のみ200円